



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 アルコニックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3036 URL http://www.alconix.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹井 正人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画 (氏名) 手代木 洋 TEL 03-3596-7400  
 本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	118,432	△8.7	2,699	△29.6	2,968	△20.8	1,912	△30.9
2019年3月期第2四半期	129,737	8.4	3,833	10.5	3,747	△1.1	2,767	△0.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,381百万円 (△37.4%) 2019年3月期第2四半期 2,205百万円 (△26.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	75.71	—
2019年3月期第2四半期	106.96	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	138,101	40,282	27.9
2019年3月期	143,851	39,673	26.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 38,530百万円 2019年3月期 37,901百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
2020年3月期	—	21.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	232,000	△9.9	5,300	△15.3	6,000	△4.1	4,400	9.7	174.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の連結業績予想については〔添付資料〕4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、[添付資料] 11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	25,915,700株	2019年3月期	25,882,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	661,769株	2019年3月期	437,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	25,258,405株	2019年3月期2Q	25,871,705株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	11
(追加情報) .....	11
(セグメント情報) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の経済環境は、長期化する米中間の貿易摩擦や中国経済の減速、英国のEU離脱交渉の難航等により、一段と景況に不透明感が強まってきております。

我が国の経済は雇用所得の改善が底堅く推移する一方、中国経済減速の影響等により企業収益並びに輸出に伸び悩みがみられますが、景気は総じて安定的な基調が持続いたしました。

当社グループを取巻く関連業界は、自動車関連においては電装化、軽量化、自動運転技術といった需要の多角化が進行しておりますが、中国経済の減速が影響し需要は全般的に減少いたしました。また、半導体・電子部品関連では、IoT、AI等におけるデータ量の増加や自動車の電装化進行による業界を横断した市場の拡大傾向は続くものの、スマートフォン並びに半導体製造装置向け需要は低調でありました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、金属加工分野における製造子会社の業績が連結業績に貢献したものの、商社流通における電子材料、自動車関連部材を中心とした取扱い並びに装置材料事業における出荷が落込み、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。利益面においては上記減収要因の他、レアメタルの一部の在庫においてたな卸資産評価損を計上したこと等により、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高118,432百万円（前年同期比8.7%減少）、営業利益2,699百万円（同29.6%減少）、経常利益2,968百万円（同20.8%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,912百万円（同30.9%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## ・商社流通－電子機能材事業

スマートフォン・タブレット端末向け部材は、需要の停滞が顕著な中、取扱いは前年同期に比べ微増にとどまりました。また、二次電池関連部材並びに環境関連部材の需要は底堅く推移し、チタン・ニッケル製品も欧州向け輸出入取引を中心に前年同期に比べ増加しましたが、レアメタル・レアアースについては、価格相場下落、需要の停滞により取扱いは低迷いたしました。

なお、一部のレアメタルの在庫に対してたな卸資産評価損の計上を余儀なくされたことにより、セグメント利益は大きく減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は37,322百万円（前年同期比15.1%減少）、セグメント利益は88百万円（同85.6%減少）となりました。

## ・商社流通－アルミ銅事業

製品分野においては、自動車の電装化・軽量化に伴うIoTの普及により非鉄需要の増加トレンドに変化はないものの、長引く米中貿易摩擦による中国の景気後退により自動車関連並びに半導体関連部材の荷動きは引き続き低調に推移いたしました。また空調機器関連部材の取扱いも天候不順の影響により前年同期に比べ減少いたしました。一方、原料分野においては、当第2四半期連結累計期間におけるアルミ・銅等の非鉄相場が低迷した他、景況感の悪化により、主力のアルミ再生塊、黄銅棒の取扱いが減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は61,712百万円（同8.5%減少）、セグメント利益は435百万円（同20.8%減少）となりました。

## ・製造－装置材料事業

めっき材料においては中国経済の減速による需要減少と市況下落の影響により、北米、中国の両拠点は共に出荷が前年同期に比べ減少いたしました。またブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品は需要がやや弱含むものの出荷自体は想定通りに推移いたしました。当第2四半期連結累計期間より連結収益に取込んだ株式会社富士カーボン製造所の小型モーター向けカーボンブラシについては国内外の自動車関連の需要減少により、国内並びに海外法人は共に収益が当初の計画を下回りました。なお、非破壊検査装置及びマーキング装置分野においては、国内の装置需要はあるものの、海外法人において主要顧客向け探傷剤等消耗品の出荷が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は12,367百万円（同15.9%増加）、セグメント利益は69百万円（同87.0%減少）となりました。

## ・製造－金属加工事業

半導体実装装置向け研削加工部品は実装装置需要が堅調に推移し、出荷は前年同期を上回りましたが、精密切削加工部品は半導体製造装置需要の減少により前年同期に比べ減少いたしました。また、自動車向け金属精密プレス部品は、新規受注並びに試作品を中心とした出荷が前年同期に比べ増加いたしました。なお利益面では、持分法適用関連会社の持分法による持分法投資利益を計上し、セグメント利益は前年同期に比べ増益となりました。

この結果、当セグメントにおける売上高は10,860百万円（同3.8%増加）、セグメント利益は2,363百万円（同14.9%増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態

#### a. 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は98,010百万円であり、前連結会計年度末比6,219百万円の減少となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加569百万円、受取手形及び売掛金の減少2,898百万円、及びたな卸資産の減少2,362百万円であります。

#### b. 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は40,090百万円であり、前連結会計年度末比469百万円の増加となりました。主な内訳は、有形固定資産の増加208百万円、のれんを含む無形固定資産の償却による減少652百万円、及び投資その他の資産の増加913百万円であります。

#### c. 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は69,948百万円であり、前連結会計年度末比4,974百万円の減少となりました。主な内訳は支払手形及び買掛金の減少3,359百万円、短期借入金の減少1,420百万円、及び1年内返済予定長期借入金の減少485百万円であります。

#### d. 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は27,870百万円であり、前連結会計年度末比1,385百万円の減少となりました。主な内訳は長期借入金の減少1,152百万円であります。

#### e. 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は40,282百万円であり、前連結会計年度末比608百万円の増加となりました。主な内訳は利益剰余金の増加1,403百万円、その他有価証券評価差額金の増加44百万円、及び為替換算調整勘定の減少587百万円であります。

### ②経営成績

#### a. 売上高

売上高は製造セグメントで増収を確保したものの、商社流通セグメントでの減収が響き、グループ全体では減収となりました。取扱品並びに製品別でみると、商社流通では、銅スクラップ、電池用鉛地金、車載並びにスマートフォン・タブレット端末向け電池・電子材料、チタン展伸材の輸出取引が前年同期に比べて増加いたしました。アルミ圧延品、伸銅品、アルミ再生塊等の非鉄原料の取扱いは減少いたしました。

製造では半導体実装装置向け精密研削加工部品、及び金属精密プレス部品が前年同期に比べ増加した他、当第2四半期連結累計期間より連結収益に取込んだ株式会社富士カーボン製造所の小型モーター向けカーボンブラシ、並びに2019年1月より連結収益に取込んだ東北化工株式会社のブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品が連結業績に寄与いたしました。一方、めっき材料、半導体製造装置向け精密切削加工部品、非破壊検査装置並びにマーキング装置の出荷は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比8.7%減少の118,432百万円となりました。

#### b. 売上総利益

商社流通セグメントにおける減収に伴う減益の他、レアメタルの一部在庫においてたな卸資産評価損を計上したことにより、当第2四半期連結累計期間における売上総利益は前年同期比6.8%減少の9,286百万円となりました。

#### c. 販売費及び一般管理費

製造子会社2社を連結子会社化したことにより、当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は前年同期比7.5%増加の6,587百万円となりました。

#### d. 営業利益

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比29.6%減少の2,699百万円となりました。

#### e. 営業外収益、営業外費用

受取配当金の増加、持分法による持分法投資利益の増加及び為替差損の減少等により、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は268百万円の収入超となりました（前年同期は86百万円の支出超）。

#### f. 経常利益

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比20.8%減少の2,968百万円となりました。

## g. 特別利益、特別損失

補助金収入等の特別利益14百万円を計上する一方、固定資産除却損等の特別損失6百万円を計上いたしました。

## h. 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益2,976百万円から、法人税等1,045百万円、連結子会社10社における非支配株主に帰属する四半期純利益18百万円を差引き、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比30.9%減少の1,912百万円となりました。

## ③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は22,812百万円（前年同四半期連結累計期間は20,423百万円）となり、前連結会計年度に比べ408百万円増加いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な変動要因は次のとおりであります。

## a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,212百万円の増加（前年同四半期は1,283百万円の増加）となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益2,976百万円、のれんを含む減価償却費1,752百万円、売上債権の減少額2,505百万円、及びたな卸資産の減少額2,155百万円であります。一方、主な減少要因は、仕入債務の減少額3,154百万円、法人税等の支払額1,168百万円、及び持分法による投資利益146百万円であります。

## b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、813百万円の減少（前年同四半期は1,379百万円の減少）となりました。主な減少要因は設備投資等に伴う有形固定資産取得による支出1,160百万円、主な増加要因は投資有価証券売却による収入1,360百万円であります。

## c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,753百万円の減少（前年同四半期は2,124百万円の増加）となりました。主な減少要因は短期借入金の純減少額1,183百万円、長期借入金の純減少額1,627百万円、親会社株主への配当金支払503百万円、及び自己株式の取得による支出283百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、当社グループの2020年3月期の通期業連結業績予想については、2019年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想を変更しておりません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合には、適時に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,600	24,170
受取手形及び売掛金	47,055	44,156
商品及び製品	25,212	22,382
仕掛品	2,866	3,182
原材料及び貯蔵品	1,595	1,747
その他	4,599	3,060
貸倒引当金	△700	△690
流動資産合計	104,230	98,010
固定資産		
有形固定資産	18,804	19,013
無形固定資産		
のれん	3,714	3,368
その他	4,036	3,729
無形固定資産合計	7,750	7,097
投資その他の資産	13,066	13,979
固定資産合計	39,621	40,090
資産合計	143,851	138,101
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,727	31,368
短期借入金	28,921	27,501
1年内返済予定の長期借入金	5,240	4,755
1年内償還予定の社債	149	149
未払法人税等	931	1,106
賞与引当金	1,058	1,056
その他	3,894	4,010
流動負債合計	74,922	69,948
固定負債		
社債	525	450
長期借入金	23,571	22,418
役員退職慰労引当金	932	758
退職給付に係る負債	851	774
長期未払金	30	338
その他	3,343	3,130
固定負債合計	29,255	27,870
負債合計	104,177	97,818

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,968	2,989
資本剰余金	1,990	2,011
利益剰余金	30,725	32,129
自己株式	△516	△800
株主資本合計	35,166	36,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	513	558
繰延ヘッジ損益	△23	△14
為替換算調整勘定	2,244	1,656
その他の包括利益累計額合計	2,734	2,200
新株予約権	10	20
非支配株主持分	1,761	1,731
純資産合計	39,673	40,282
負債純資産合計	143,851	138,101

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	129,737	118,432
売上原価	119,776	109,145
売上総利益	9,960	9,286
販売費及び一般管理費	6,127	6,587
営業利益	3,833	2,699
営業外収益		
受取利息	83	85
仕入割引	8	9
受取配当金	203	268
不動産賃貸収入	40	40
持分法による投資利益	89	146
屑売却益	128	109
その他	92	167
営業外収益合計	646	826
営業外費用		
支払利息	326	360
売上割引	4	3
為替差損	328	107
手形売却損	14	12
不動産賃貸原価	8	8
その他	49	65
営業外費用合計	732	558
経常利益	3,747	2,968
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	36	0
新株予約権戻入益	1	—
助成金収入	3	3
補助金収入	154	8
特別利益合計	198	14
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	6
投資有価証券売却損	5	—
特別損失合計	6	6
税金等調整前四半期純利益	3,939	2,976
法人税等	1,078	1,045
四半期純利益	2,860	1,930
非支配株主に帰属する四半期純利益	93	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,767	1,912

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,860	1,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△229	37
繰延ヘッジ損益	90	7
為替換算調整勘定	△475	△550
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	△43
その他の包括利益合計	△654	△549
四半期包括利益	2,205	1,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,132	1,378
非支配株主に係る四半期包括利益	73	3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,939	2,976
減価償却費	1,159	1,439
のれん償却額	269	313
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△113
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36	△77
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14	△174
受取利息及び受取配当金	△286	△353
支払利息	326	360
持分法による投資損益 (△は益)	△89	△146
売上債権の増減額 (△は増加)	1,072	2,505
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,652	2,155
仕入債務の増減額 (△は減少)	△561	△3,154
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△71	51
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△27	9
前渡金の増減額 (△は増加)	726	43
未収入金の増減額 (△は増加)	160	24
未払金の増減額 (△は減少)	△108	249
前受金の増減額 (△は減少)	112	46
その他	△406	△125
小計	3,630	6,031
利息及び配当金の受取額	260	432
利息の支払額	△339	△345
法人税等の支払額	△2,297	△1,168
法人税等の還付額	29	263
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,283	5,212
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△131	△259
定期預金の払戻による収入	94	85
有形固定資産の取得による支出	△1,472	△1,160
無形固定資産の取得による支出	△61	△56
投資有価証券の取得による支出	△11	△677
投資有価証券の売却による収入	76	1,360
投資有価証券の償還による収入	—	54
貸付けによる支出	△20	△449
貸付金の回収による収入	2	285
保険積立金の積立による支出	△8	△12
その他	153	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,379	△813

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,096	△1,183
長期借入れによる収入	850	920
長期借入金の返済による支出	△2,214	△2,547
社債の償還による支出	△74	△74
株式の発行による収入	22	—
自己株式の取得による支出	△0	△283
配当金の支払額	△490	△503
非支配株主への配当金の支払額	△45	△25
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,124	△3,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	△175	△237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,854	408
現金及び現金同等物の期首残高	18,569	22,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,423	22,812

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「自己株式の取得による支出」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△0百万円は、「自己株式の取得による支出」△0百万円として組み替えております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	41,966	66,861	10,585	10,323	129,737
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,007	568	87	143	2,807
計	43,973	67,430	10,672	10,467	132,544
セグメント利益	615	550	536	2,057	3,759

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,759
セグメント間取引消去	△12
四半期連結損益計算書の経常利益	3,747

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	35,908	59,478	12,306	10,738	118,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,413	2,233	60	121	3,829
計	37,322	61,712	12,367	10,860	122,262
セグメント利益	88	435	69	2,363	2,957

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,957
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の経常利益	2,968